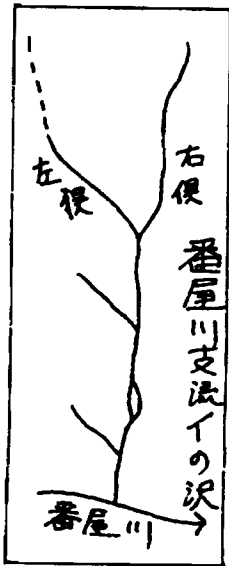


## 番屋川支流イの沢 (仮称) 左俣, 右俣

1990年7月29日

L:



出合まで車で送ってもらい、番屋川本流を渡って、イの沢 (仮称)に入る。コケむした暗い沢である。倒木があつたりして、歩きづらい所もある。左より小沢が2本入り、やがて二俣。沢は急に開けて明るくなるが、倒木がびっしり沢を埋めている。

左俣はすぐに水がなくなり、まもなくヤブとなる。右俣めざしてヤブをこぎ、右俣を二俣まで下る。右俣も平凡であった。

二俣からは右岸に残っていた林道跡をたどって、出合まで戻る。

(記)

[タイム] 出合(7:50)→二俣(8:40, 9:00)→左俣終了(9:10)  
→右俣下降開始(9:15)→二俣・下降終了(9:30)

## 番屋川支流口の沢 (仮称) 右俣

1990年7月29日

L:

今日は橋内さんと組んで、番屋川支流口の沢(仮称)を遊行する。7:55林道わきに車を止めて、遊行開始。出だしは暗い沢であったが、まもなく広い川原状となる。8:15二俣。左俣に入る西・菱沼パーティと別れて右俣に入る。まずは大量の倒木の堆積。そのあと沢は急に狭くなり、3mの滝が現われる。滝の右岸が崩壊して、岩がたまっている。そのあと2mの滝、ナメと現われ、先に期待をもたせる。

8:50 2m, 4m, 5m 階段状滝と連続して出てきた。

9:00 二俣。左沢は10m 2段滝をかけ、右沢はゴルジュ状の中に階段状の3m滝である。水量は左沢の方が多いが、沢床の低い右沢へとルートをとる。

このあとは3mの滝がひとつ出てきただけで、水が溜

